

## (5) 参考資料

## 15 ページ 小学校第6学年特別活動（学級活動）の資料

## 資料1

アンケート				
食生活について	とても	よく	ときどき	たまに
・塩分の多い食べ物を食べますか				
・野菜や果物を食べますか				
・熱い飲食物を食べますか				
運動について	毎日	週4～6回	週1～3回	ない
・体育の時間以外で週にどれくらい運動をしていますか				
運動時間について	2時間以上	1時間以上	30分以上	30分未満
・その運動は、一日何時間行っていますか				

## 資料2

自分の食べたものを調べてみよう。また、運動したことと時間を調べよう。			
日時	食べたもの	運動	時間
○月○日【日】			
○月○日【月】			
○月○日【火】			
○月○日【水】			
○月○日【木】			
○月○日【金】			
○月○日【土】			

## 資料3

## チャレンジカード

改善策			
自分の食べたものを記録しよう。また、運動したことと時間を記録しよう。			
日時	食べたもの	運動	時間
○月○日【日】			
○月○日【月】			
○月○日【火】			
○月○日【水】			
○月○日【木】			
○月○日【金】			
○月○日【土】			
振り返り			

資料 学習プリント

## がんの予防

※日本人の死因④

1. がん    2. 心臓病    3. 肺炎    4. 脳卒中

※日本人のがんとその相関

	がんになる確率	がんで死亡する確率	2人に1人が がんになっている
男性	62%	25%	
女性	47%	16%	

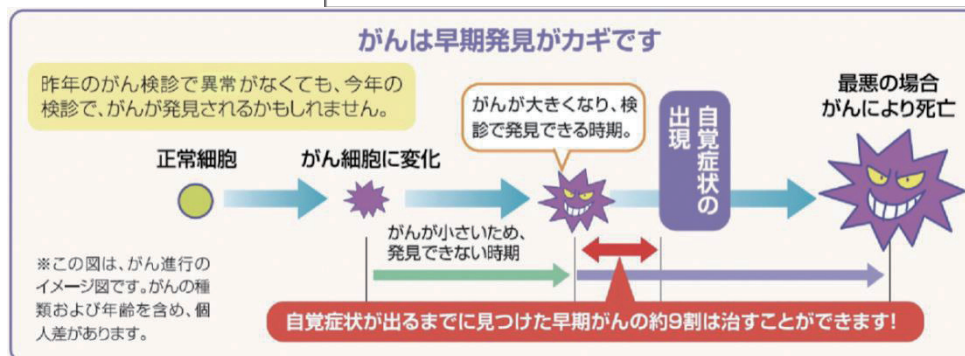
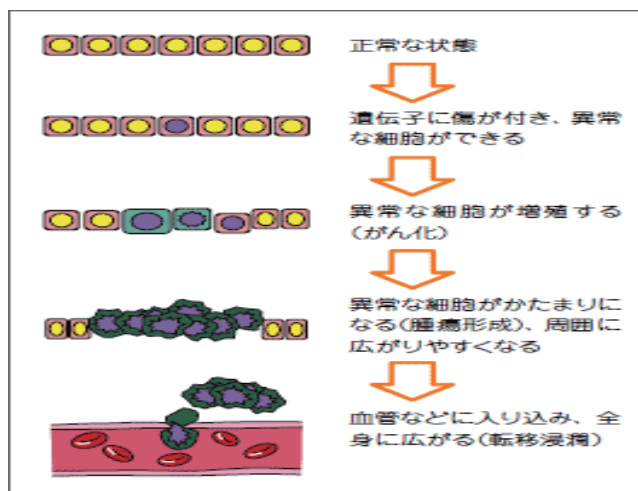
### 1. がんとは・・・

○がんの種類

胃がん	大腸がん	肺がん	肝臓がん
乳がん	子宮頸がん	前立腺がん	など

○がんの発生と経過

出典：「がん教育推進のための教材」  
文部科学省平成28年4月  
(平成29年6月一部改訂)



●がんの原因と予防（話し合ってみよう）

**原因** 遺伝要素 細菌・ウイルス感染  
生活習慣

**予防** 禁煙 節酒 身体を動かす  
食生活を見直す 適正体重を維持する

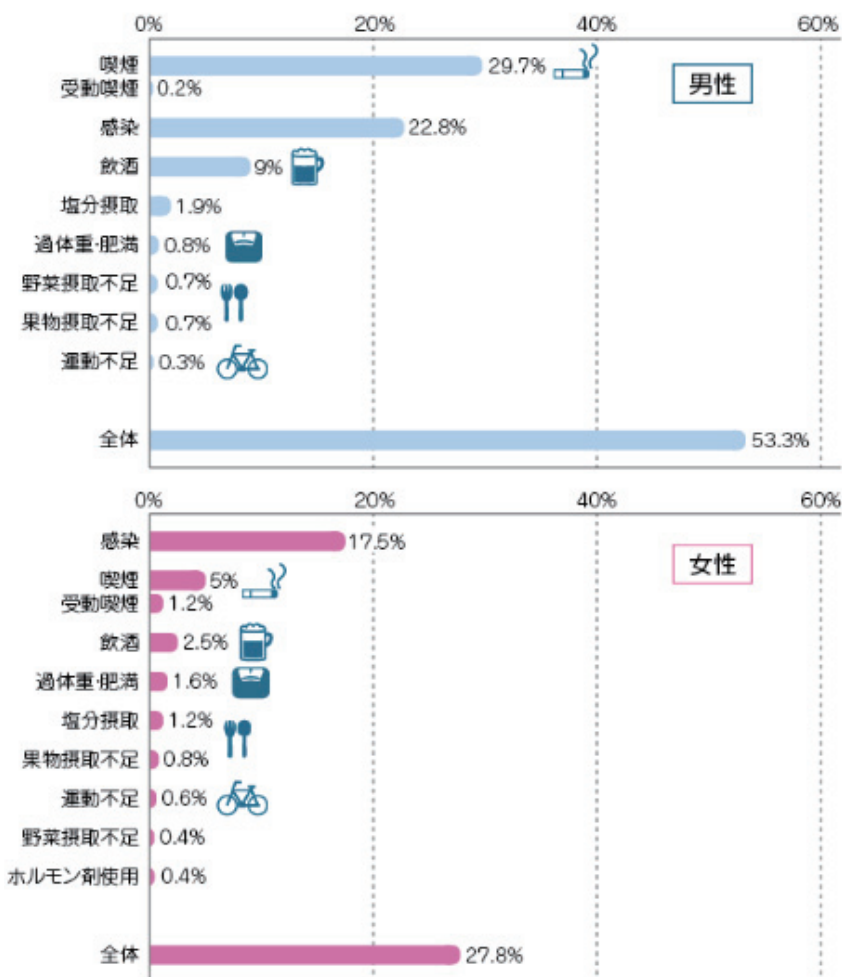
●がんは、早期発見できる場合とそうでない場合があるのはなぜだろう。（考えてみよう）

がん検診などの普及や医療の進歩によって、がんの早期発見・早期治療が可能になっている。そのため、がんを発症した後、進行を食い止め、回復しているケースも増えている。  
→ しかし、受診率が低いことが問題

### 2. これからの生活で気をつけたいこと

予防	
早期発見	

資料1 「日本人におけるがんの要因」



出典：国立がん研究センターがん情報サービス一般の方向けサイト

※資料1は、日本人のがんの中で、原因が生活習慣や感染であると思われる割合をまとめたもので、「全体」の項目に示されている、男性のがんの53.3%、女性のがんの27.8%は、ここにあげた生活習慣や感染が原因でがんとなったと考えられている。

資料2 「がんを防ぐ5つの生活習慣」

	習慣	気を付けること
1	禁煙	吸わない、吸い込まない ★若い人ほど影響大
2	食生活	食生活を見直す ★野菜・果物の不足、塩分の多い食べ物、熱い食べ物のとりすぎ
3	適正体重	体重管理をする ★適正体重（身長m） <sup>2</sup> ×22
4	運動	適度な運動をする ★一日30分以上の運動
5	節酒	飲みすぎない（将来） ★適正飲酒量（ビール中ビン）

## 資料3 「学級活動ワークシート」 2年（ ）組（ ）番（ ）

◎めあて ずっと健康な自分であるために、「MY 健康宣言」を作ろう

## 1, がん予防に（健康に）効果があると思う自分の生活習慣を書き出そう。（具体的に）

（例：朝5時におきて1キロ走っている、毎日お風呂上りに体重を測っている など）

●
●
●

## 2, 友達の生活習慣から「がん予防に（健康に）効果があるな」「実践してみたいな」と思うものを書こう。また、どの観点からそう思ったのか、評価しよう。

評価（複数可）

氏名	実践している生活習慣	
		A → 継続性・続けられそう、実行できそう B → 実効性・実際効果ありそう C → 課題性：その人の課題を解決できそう

## 3, これから実践したい、これからも続けたいMY健康宣言を作ろう。

第1条	
第2条	
第3条	

## 4, 今日の学習を振り返ろう。



## がんはどのような病気でしょうか？

がんになる  
確率

生涯では  
**62%**

がんが死に至る  
確率

生涯では  
**25%**

生涯では  
**47%**

生涯では  
**16%**

出典：国立がん研究センターがん情報サービス 一般の方向けサイト

## がんの発生と経過

正常な状態

遺伝子に傷が付き、異常な細胞ができる

異常な細胞が増殖する  
(がん化)

異常な細胞ががたまりになる(腫瘍形成)、周囲に広がります

血管などに入り込み、全身に広がる(転移発症)

毎日多数のがん細胞が発生

↓

免疫が働いてがん細胞を死滅

↓

免疫力低下などの理由でがん細胞が増える

出典：「がん教育推進のための教材」文部科学省 平成28年4月（平成29年6月一部改訂）

## がんの経過

**がんは早期発見がカギです**

昨年のがん検診で異状がなくても、今年検診で、がんが発見されるかもしれません。

正常細胞 → がん細胞に変化

がんが大きくなり、検診で発見できる時期。

がんが小さいため、発見できない時期

発見できるまでに見つけた早期がんの約9割は治すことができます！

最悪の場合  
がんにより死亡

発見されたがん

※この図は、がん進行のイメージ図です。がんの種類や進行速度により、異変の時期や発見のタイミングが異なります。

出典：「がん教育推進のための教材」文部科学省 平成28年4月（平成29年6月一部改訂）

## 主ながんの種類

がんの名称	特徴など
胃がん	・ヒロリ菌 <sup>※1</sup> の感染が発病にかかわっていると考えられている。
大腸がん	・運動不足や肥満、大量の飲酒などが発病に関連している。
肺がん	・我が国では、死亡者数が最も多く、特に男性に多い。 ・最大の原因は喫煙であり、たばこを喫う人が肺がんにかかる確率は、男性では吸わない人の4～5倍にもなる。
肝臓がん	・主な原因はB型及びC型の肝炎ウイルス <sup>※2</sup> の感染である。 ・大量の飲酒の習慣も、肝臓がんになるおそれがある。
乳がん	・乳房内にがんのかたまりができるため、しこりや皮膚のくぼみなどの有無を自己チェックすることが重要である。
子宮頸(けい)がん 子宮体がん	・子宮のがんには、子宮の入口(頸(けい)部)にできるものと、子宮本体(体部)にできるものがある。 ・頸(けい)部にできるものでは、初期の段階では症状がないことが多い。特に症状がなくても、20歳を過ぎたら、2年に1回子宮頸(けい)がんの検診を受けることが勧められている。
前立腺がん	・診断方法が普及したことで、前立腺がんと診断される人が増加している。 ・かたまりが進行した場合は、適切な対処すれば、通常の生活を長く続けることができる。

※1 ヒロリ菌：胃や小腸に寄生し炎症などを起こす細菌。また、胃がん等の発生に深く関連していると考えられています。  
※2 B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスにはA、B、C、D、Eなどさまざまな種類が存在しています。肝臓がんの原因となるのは主にB、Cの2種類です。これらのウイルスは、経血・出産、血液製剤の注射、性的接触、針刺し行為によって感染するとされています。

出典：「がん教育推進のための教材」文部科学省 平成28年4月（平成29年6月一部改訂）

A4

26ページ 高等学校第1学年保健体育科（科日保健）の資料③

## がんの予防

がんの原因は1つではない

生活習慣

持って生まれた体質(遺伝要素)

細菌ウイルス感染

環境

5つの健康習慣を実践することで  
がんになる危険性が低くなります

出典：「がん教育推進のための教材」文部科学省 平成28年4月（平成29年6月一部改訂）

## がんの治療

手術療法→がんを切除  
放射線療法→放射線の照射でがん細胞を死滅させる  
化学療法→抗がん剤などの薬や点滴や注射で増殖を抑える

がん治療の三つの柱

**十分な説明を受けた上で選択することが大切**

## がん検診 各自治体で実施

国が推奨しているがん検診の対象年齢と受診間隔

<p>胃がん検診 胃内エックス線検査 40歳以上・年1回 胃がん検診検査 50歳以上・2年に1回</p>	<p>大腸がん検診 便潜血反応 40歳以上・年1回</p>	<p>肺がん検診 胸部レントゲン 喫煙者は併せて低線量CT 40歳以上・年1回</p>	<p>乳がん検診 マンモグラフィ検査 40歳以上・2年に1回</p>	<p>子宮頸がん検診 細胞診 20歳以上・2年に1回</p>
--	---------------------------------------	---	--	--

出典：「がん教育推進のための教材」文部科学省 平成28年4月（平成29年6月一部改訂）

## がん検診受診率 約40%

### 男女別がん検診受診率(40～69歳)の推移

国立がん研究センターがん情報センターにて作成

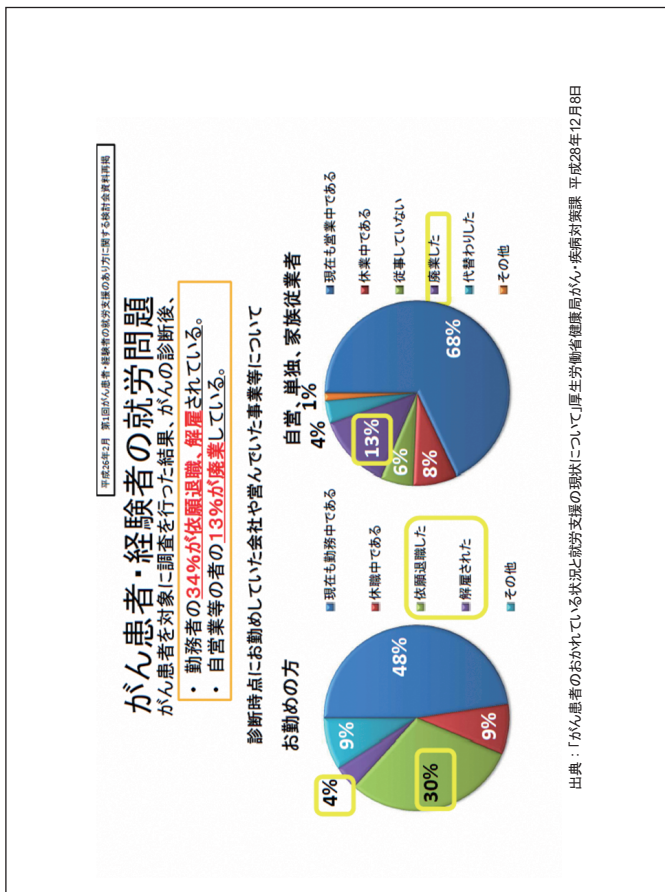
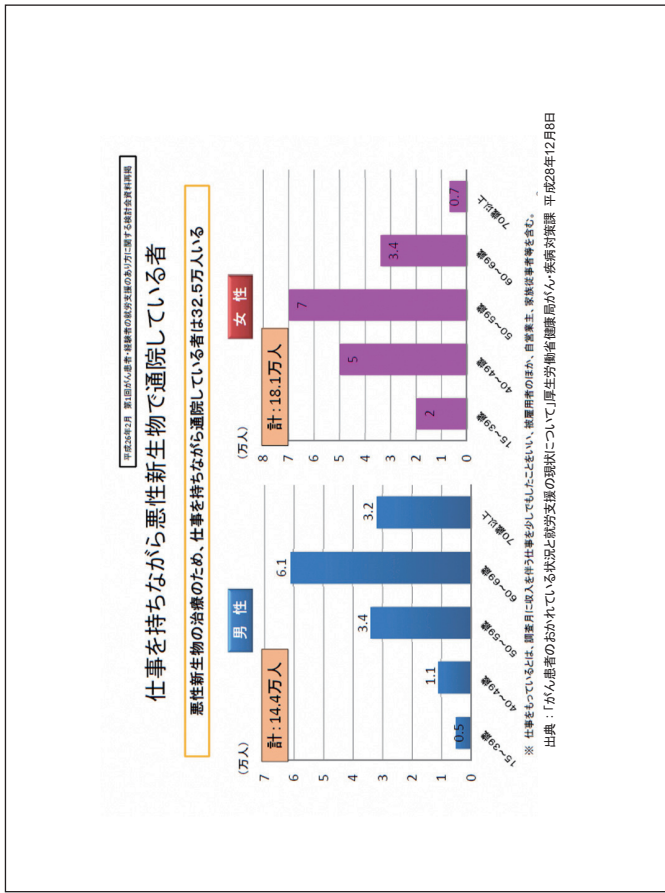
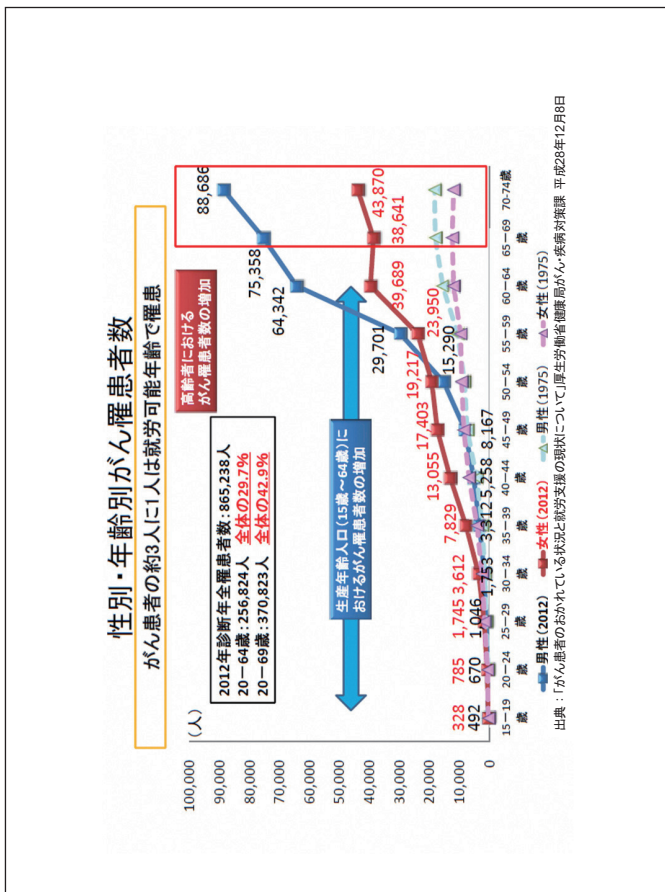
性別	2000年	2005年	2010年	2015年	2016年度
男性	33.8	34.5	33.8	37.2	38.5
女性	45.8	46.4	41.4	44.5	44.5
男性	38.5	39.1	37.6	41.7	41.7
女性	47.1	47.1	41.4	44.9	44.9
男性	38.5	38.5	37.6	41.7	41.7
女性	47.1	47.1	41.4	44.9	44.9
男性	38.5	38.5	37.6	41.7	41.7
女性	47.1	47.1	41.4	44.9	44.9
男性	38.5	38.5	37.6	41.7	41.7
女性	47.1	47.1	41.4	44.9	44.9

出典：国立がん研究センターがん情報センターがん登録・統計

- 36 -

A4

26ページ 高等学校第1学年保健体育科（科田保健）の資料④



### がんの予防と回復に対する社会的対策について考えよう

- 1 班ごとにタブレットを使って調べ。
  - 1班・2班：検診について
  - 3班・4班：治療法について
  - 5班・6班：生活の質について
  - 7班・8班：緩和ケアについて
- 2 奇数班・偶数班で新しい班を作り、調べたことを交流する。
- 3 全体で交流する。



## 資料2 学習プリント

## 社会的対策について考える

社会的対策の1つである、がん検診の受診率を上げるためには、  
どうしたらよいでしょうか？

## がん検診の受診率

胃がん検診(       %)

大腸がん検診(       %)

肺がん検診(       %)

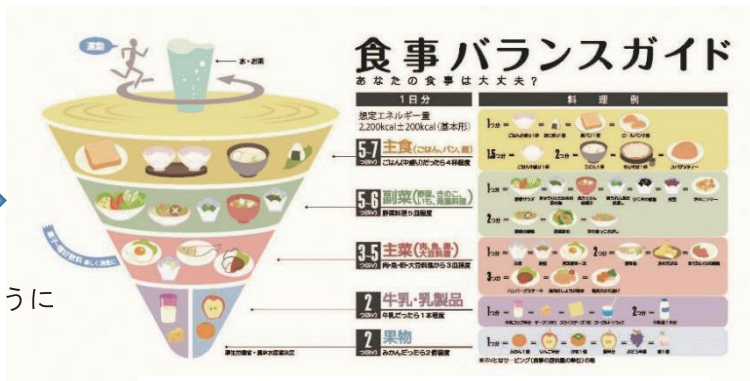
乳がん検診 (       %)

資料 1 学習プリント

がん予防の方法を考えよう

がんを予防するための新 12カ条（国立がん研究センター研究所 HP）

- 第 1 条 （ア たばこ ）は吸わない
- 第 2 条 他人のたばこの（イ 煙 ）  
をできるだけ避ける
- 第 3 条 （ウ お酒 ）はほどほどに
- 第 4 条 （エ バランス）のとれた食生活を
- 第 5 条 （オ 塩辛い ）食品は控えめに
- 第 6 条 野菜や（カ 果物 ）は不足にならないように
- 第 7 条 適度に（キ 運動 ）
- 第 8 条 適切な（ク 体重 ）維持
- 第 9 条 ウイルスや細菌の感染予防と治療
- 第 10 条 定期的な（ケ がん検診 ）を
- 第 11 条 身体の異常に気がいたら、すぐに受診を
- 第 12 条 正しいがん（コ 情報 ）でがんを知ることから



出典：「食事バランスガイド」について  
農林水産省 HP

バランスのとれた食事を考えよう（昼ご飯 1 食分）

農林水産省 HP 『食事バランスガイド』食事例

昼ごはん、夕ごはん『2007年版食育カレンダー』より

監修：足立己幸（女子栄養大学名誉教授）調理監修：針谷順子（高知大学教育学部教授）

製作・発行：(株)グレイン・エス・ピー



朝ごはん	主食	副菜	主菜	牛乳・乳製品	果物
ごはん(大盛り)	2				
切干大根の煮物		1			
アスパラガス入り炒り卵			1		
野菜スープ					
牛乳				1	
いちご					1
朝ごはん合計	2	1	1	1	1



夕ごはん	主食	副菜	主菜	牛乳・乳製品	果物
きのこごはん	2				
里ももと白菜のみそ汁		1			
野菜とベーコンのサラダ		1			
さけのちゃんちゃん焼き		1	2		
ヨーグルト				1	
夕ごはん合計	2	3	2	1	0

単位:1つ(SV)

昼ごはん(案)	献立	主食	副菜	主菜	牛乳・乳製品	果物



## 4 外部講師を活用したがん教育の進め方

がん教育を進めるに当たっては、外部講師の参加・協力が効果的です。

外部講師としては、医療従事者、がん経験者等が考えられます。ここでは、学校において外部講師が実際ががん教育を実施するに当たり、留意すべき事項等を示しています。

また、外部講師を活用しないがん教育においても参考となる、配慮すべき内容や保護者宛ての文書等を掲載していますので、是非、御活用ください。

### 1 基本方針

#### (1) 講師の専門性が十分に活かされるよう工夫

地域や学校の実情に応じて、学校医、がん専門医（がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン、がん診療連携拠点病院の活用を考慮）、がん患者、がん経験者など、それぞれの専門性が十分生かせるような指導の工夫を行い、教員と十分な連携のもと外部講師を活用したがん教育を実施します。

#### (2) 学校教育活動全体で健康教育の一環として実施

体育科、保健体育科を中心に学校の実情に応じて教育活動全体を通じて適切に行うことが大切です。学級担任や教科担任、保健主事などが中心となって健康教育の一環として企画するものであり、必要に応じ、養護教諭とも連携してください。また、家庭や地域社会との連携を図りながら、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎が培われるよう配慮することが大切です。

#### (3) 発達段階を踏まえた指導

小学校では、主としてがんを通じて健康と命の大切さを育むことを主なねらいとします。中学校、高等学校では主として、科学的根拠に基づいた理解をすることを主なねらいとします。その際、保健体育科でがんを含む疾病の予防が位置付けられている中学校2年生や高等学校1年生の指導後に、外部講師を活用したがん教育を行うなどの工夫が重要です。なお、効果的な指導を行うためには、学校保健計画に位置付けるなどして計画的に実施することが望ましいです。

### 2 がん教育実施上の手順と進め方（例）

#### (1) ポイント

- ① 学校が主体となって企画・運営を行う。
- ② 核となる教員や授業を担当する教員だけがかかわるのではなく、全ての教職員の共通理解のもとに進める。
- ③ 保護者への広報、啓発活動を同時に行うと効果的である。関係者、関係機関との継続した連携体制を構築する。
- ④ 年度当初の職員会議等で、「学校保健計画」に基づき外部講師を活用したがん教育の開催予定を周知するなど、情報を共有する。

## (2) 手順

## 1 企画

## 2 打ち合わせ

## 3 準備

学校内	保健主事や授業を担当する保健体育科教員、学級担任などを中心に核となる教員を決め関係教職員と連携しつつ、外部講師を活用したがん教育を企画する。 ・どんなテーマで ・いつ ・だれを講師に	外部講師を活用したがん教育の実施に向けて、教職員の共通理解を図り、実施内容等について話し合う。また、教科書やがん教育にかかわるビデオ、パンフレットなどの資料を準備し、外部講師を活用したがん教育の講師予定者との打ち合わせに備える。	当日児童生徒に配布する資料や使用する視聴覚機材を準備する。 必要な場合には事前学習・事前指導等を行う。
関係者との調整	外部講師を活用したがん教育の企画に合わせて、関係機関に講師の派遣を依頼する。 ・事前打診 ・正式依頼状送付 ・打ち合わせ日程調整	外部講師を活用したがん教育の講師予定者と当日の指導内容や指導方法について打ち合わせを行う。 ・詳細な日程 ・講師と学校の役割分担 ・準備品等 ・指導上の留意事項の確認	資料や視聴覚機材についての最終確認を行う。 講師と教員との役割分担についても確認する。

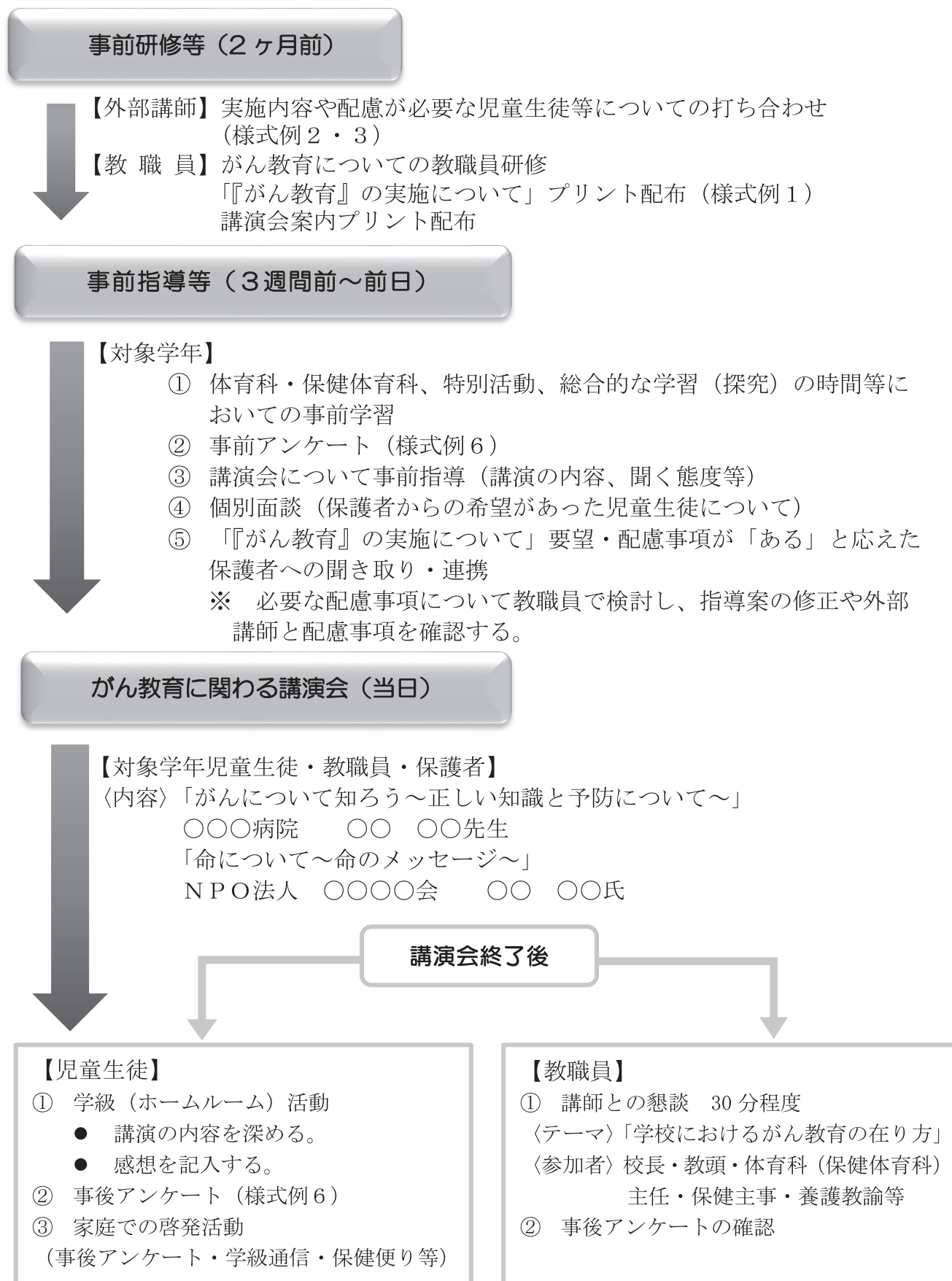
## 4 外部講師を活用したがん教育

## 5 実施後の指導

## 6 評価まとめ

学校内	本時におけるがん教育の目的・ねらいの説明、講師の紹介等を行う。外部講師を活用したがん教育を実施する。	学校の実情に応じて、関連した教科と結び付けた指導を行う。 外部講師を活用したがん教育を受講した児童生徒が、内容に対する疑問や質問を聞いたり、感想をまとめたりするとよい。	成果や課題について担当者で話し合い、次年度の外部講師を活用したがん教育に生かす。 また、この結果は全ての教職員で共有する。
外部講師との調整	講師との最終確認を行い、がん教育を実施する。	外部講師に授業実施の感想などを尋ねるとともに児童生徒の感想などをまとめ、指導上の課題や児童生徒の実施後の指導などについて話し合う。	講師及び講師の所属先に礼状を出す。

## (3) 進め方 (例)



## 5 参考資料の活用について

がん教育の実施において、参考となる保護者宛て文書や外部講師等との打ち合わせのチェックリスト、がん教育の評価に利用できるアンケートなどを掲載しています。

学校の実態に応じて変更していただき、御活用ください。

### 【配慮が必要な児童生徒に対して】

配慮についての申し出があった児童生徒の保護者に対しては、がん教育の実施後に様式例5（本紙49ページ参照）などの文書を配布することは当然ですが、配布するだけでなく、下記の内容等について保護者に確認し、把握しましょう。

### 記

- 配慮内容は適切であったか
- 配慮が正しく行われたか
- 児童生徒の様子に変わりはないか  
元気がない 怯えている 傷ついている ふさぎ込んでいる 等
- 今後フォローが必要なことはないか  
見守り 声かけ もう少し詳しく話を聞く  
スクールカウンセラー等へつなぐ など

様式例 1

令和〇〇年〇月〇日

保護者各位

〇〇立〇〇学校長（〇年〇組 担任）

## 「がん教育」の実施について

〇〇の候 保護者の皆様におかれましては、御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、近年、がんは、日本において疾病での死因の第1位であり、また、生涯のうち、国民の2人に1人ががんに罹患すると言われていたことから、がんは重要な健康課題であり、健康に関する基礎的教養として身につけておくべきものとなっています。

しかし、医学の急速な進歩等により、がんを取り巻く状況は変化しているにもかかわらず、がんに関する関心の低さやがんは未だ不治の病といった認識が残っているなど、教育が不十分であることが指摘されています。

そのため、がん教育を行うことにより、がんについて正しく理解し、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する認識を深め、自他の健康と命の大切さを学ぶことができることから、本校では、下記の要領でがん教育を実施する予定です。

なお、事前に各御家庭で、がんについて話し合ってください、要望や配慮事項がある場合は必ず、下記の「1 あります」に○を付けて提出してください。

\* 「1 あります」に○を付けられた方へは、後日、担任が直接、連絡させていただきます。

### 記

- 1 日 時 令和〇〇年〇〇月〇〇日（〇） 〇〇：〇〇～
- 2 場 所 〇〇〇〇
- 3 内 容（がん教育の目的）
  - ・がんについての正しい知識を身につける。
  - ・生きること、命の大切さについて主体的に考え、行動できるようになる。
- 4 外部講師 NPO法人〇〇〇〇 〇〇 〇〇氏

..... 切り取り .....

**\*この用紙は全員提出をお願いします。（提出の際は封入してください）**

年 組 番 児童（生徒）氏名  
保護者氏名

がん教育について要望・配慮事項が 1 あります 2 ありません  
※ 1もしくは2に○をつけてください。



## 様式例 2

**「外部講師を活用したがん教育」実施に当たってのチェックリスト  
(教職員用)**

- 1 日時 令和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇) 〇〇 : 〇〇～
- 2 場所 〇〇〇〇
- 3 対象  
□全学年 □学年 □学級 □保護者 □教員 約 ( ) 名
- 4 内容 (がん教育に必要な内容)  
※「学校におけるがん教育の在り方について (報告)」(平成 27 年 3 月) より
 

<input type="checkbox"/> がんとは (がんの要因等)	<input type="checkbox"/> がんの治療法
<input type="checkbox"/> がんの種類とその経過	<input type="checkbox"/> がん治療における緩和ケア
<input type="checkbox"/> 我が国のがんの状況	<input type="checkbox"/> がん患者の「生活の質」
<input type="checkbox"/> がんの予防	<input type="checkbox"/> がん患者への理解と共生
<input type="checkbox"/> がんの早期発見・がん検診	<input type="checkbox"/> 健康と命の大切さ
- 5 校内の共通理解
  - 保健主事や授業者だけでなく、全ての教職員の共通理解が図られているか。
  - 講師と内容や役割分担等の十分な打ち合わせを行い、共通理解が図られているか。
- 6 事前調査・事前学習等
  - 小児がんの当事者、小児がんにかかったことのある児童生徒を把握しているか。
  - 家族にがん患者がいる児童生徒や、家族をがんで亡くした児童生徒を把握しているか。
  - がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある児童生徒や、家族に該当患者がいたり家族を亡くしたりした児童生徒を把握しているか。
  - 事前調査による保護者からの要望等が授業 (講演) 内容に反映しているか。
  - 授業 (講演) に参加したくない児童生徒に対応しているか。
  - 途中退席や別室受講が可能であることやその場合の方法等を児童生徒に知らせているか。
- 7 必要物品の準備
  - パソコン □プロジェクター □マイク ( ) 本 □配付資料
  - その他 (ホワイトボード、マーカー)

## 様式例 3

**「外部講師を活用したがん教育」実施に当たってのチェックリスト  
(外部講師用)**

- 1 日時 令和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇) 〇〇 : 〇〇～
- 2 場所 〇〇〇〇
- 3 対象  
全学年 学年 学級 保護者 教員 約 ( ) 名
- 4 形態 講演会 教科等でのゲストティーチャー  
その他 ( )
- 5 内容 (がん教育に必要な内容)  
 ※「学校におけるがん教育の在り方について (報告)」(平成 27 年 3 月) より  
 がんとは (がんの要因等)  がんの治療法  
 がんの種類とその経過  がん治療における緩和ケア  
 我が国のがんの状況  がん患者の「生活の質」  
 がんの予防  がん患者への理解と共生  
 がんの早期発見・がん検診  健康と命の大切さ
- 6 実施予定時間  
 授業 (講演) 開始時刻 時 分 ( 分間)  
 (講師到着時刻 : ) (打ち合わせ : ~ : )
- 7 必要物品  
パソコン プロジェクター マイク レーザーポインター  
配付資料 (含 印刷等) その他 ( )
- 8 講師謝金 ( 円) ・ 旅費 ( 円)
- 9 学校の概要及び児童生徒の実態、その他確認事項  
 小児がんの当事者、小児がんにかかったことのある児童生徒について  
 家族にがん患者がいる児童生徒や、家族をがんで亡くした児童生徒について  
 がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある児童生徒や、家族に該当患者がいたり家族を亡くしたりした児童生徒について  
 事前調査による保護者からの要望等について

様式例 4

令和〇〇年〇月〇日

保護者各位

〇〇立〇〇学校長（〇年〇組 担任）

### 「がん教育」の実施について（御報告）

〇〇の候、保護者の皆様には、御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、先日お知らせしておりました「がん教育」を本日実施いたしました。「がん教育」を実施するに当たり、保護者の皆様には御協力をいただきまして、ありがとうございました。

本日

（ ）の（ ）氏を講師に迎え

- **がんについての正しい知識を身に付ける**
- **生きること、命の大切さについて主体的に考え、行動できるようになる**

ことを目的に以下☑の内容で「がん教育」を実施いたしました。

- |                                       |                                       |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> がんとは（がんの要因等） | <input type="checkbox"/> がんの治療法       |
| <input type="checkbox"/> がんの種類とその経過   | <input type="checkbox"/> がん治療における緩和ケア |
| <input type="checkbox"/> 我が国のがんの状況    | <input type="checkbox"/> がん患者の「生活の質」  |
| <input type="checkbox"/> がんの予防        | <input type="checkbox"/> がん患者への理解と共生  |
| <input type="checkbox"/> がんの早期発見・がん検診 | <input type="checkbox"/> 健康と命の大切さ     |
| <input type="checkbox"/> その他（ ）       |                                       |

子供たちは、講師の話を真剣に聞き、それぞれが、がんについて正しく理解し、自他の健康と命の大切さについての学びを深めたのではないかと思います。

そこで、本日学んだこと、感じたことについてお子様と御家庭でお話をしていただき、本日の学習内容やお子様の様子などを確認していただければ幸いです。

その際、気になること等、学校へお知らせする内容がありましたら、下記の「1 あります」に○を付けて提出してください。また、「2 ありません」の場合も提出をお願いいたします。

※ 「1 あります」に○を付けられた方へは後日学校から連絡をさせていただきます。

----- 切り取り -----

**\*この用紙は全員提出をお願いします。（提出の際は封入してください）**

年 組 番	児童（生徒）氏名
	保護者氏名
学校に知らせておきたいことが	1 あります                      2 ありません
	※ 1もしくは2に○をつけてください。

様式例 5

令和〇〇年〇月〇日

〇年〇組〇〇 〇〇さん  
保護者 〇〇 〇〇様

〇〇立〇〇学校 校長 〇〇 〇〇  
〇年〇組 担任 〇〇 〇〇

### 「がん教育」の実施について（御報告）

〇〇の候、保護者の皆様におかれましては、御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本日、先日の事前打ち合わせのとおり、配慮を行いながら「がん教育」を実施しました。がん教育実施後のお子様の様子はいかがででしょうか。お子様の様子で気になることや学校への御意見等ございましたらいつでも担任、養護教諭等へ御連絡ください。

小学生用

様式例 6

※ このアンケートはがん教育の実施前後で行うことで、がん教育の評価として御活用いただけます。

ねん 年      くみ 組      ばん 番      なまえ 名前

ほけんきょういく  
保健教育アンケート（がんについて）

がんについて、当てはまるものに○を付けてください。

しつもん 質問 1		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない
a	がんの学習は、健康な生活を送るために大切だ。				
b	がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ。				

しつもん 質問 2		ただ正しい	まちが間違い
a	がんはだれもがかかるともかもしれない病気である。		
b	がんは病気が進むと、今まで通りの生活ができなくなったり、死んでしまったりすることがある。		
c	がんは日本人の死亡原因の第2位である。		
d	たばこを吸わないこと、バランスよく食事すること、適度な運動をすることなどによって予防できるがんもある。		
e	早期に発見すれば、がんは治りやすい。		
f	体の調子が良い場合は、定期的に検査を受けなくても良い。		
g	がんは手術しないと治らない。		
h	がんの痛みはがまんするしかない。		

しつもん 質問 3		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう 思わない
a	自分はがんにならないと思う。				
b	将来、たばこを吸わないでいようと思う。				
c	目ごろから、バランスの良い食事をしたり、運動をしたりしようと思う。				
d	がんの検査を受けられる年齢になったら検査を受けようと思う。				
e	がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである。				
f	がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。				
g	がんと健康について、まずは家族と話し合おうと思う。				
h	家族や身近な人が健康であってほしいと思う。				
i	長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う。				

年 組 番 氏名

### 保健教育アンケート（がんについて）

がんについて、当てはまるものに○を付けてください。

質問 1		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば 思わない	そう 思わない
a	がんの学習は、健康な生活を送るために大切だ。				
b	がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ。				

質問 2		正しい	間違い
a	がんは誰もがかかるかもしれない病気である。		
b	がんは病気が進むと、今まで通りの生活ができなくなったり、死んでしまったりすることがある。		
c	がんは日本人の死因の第2位である。		
d	たばこを吸わないこと、バランスよく食事すること、適度な運動をすることなどによって予防できるがんもある。		
e	早期発見すれば、がんは治りやすい。		
f	体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくてもよい。		
g	がんの治療法は手術療法しかない。		
h	がんの痛みは我慢するしかない。		

質問 3		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう 思わない
a	自分はがんにならないと思う。				
b	将来、たばこを吸わないでいようと思う。				
c	日ごろから、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。				
d	がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けようと思う。				
e	がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである。				
f	がんになっても生活の質（肉体的・精神的・社会的・経済的な安定、生きがいや幸福感）を高めることができる。				
g	がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。				
h	がんと健康について、まずは身近な家族と語ろうと思う。				
i	家族や身近な人が健康であって欲しいと思う。				
j	長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う。				

## 平成30年度福岡県がん教育推進委員会

### 【委員】

松浦 賢長	福岡県立大学教授
田村 和夫	福岡大学医学部総合医学研究センター教授
田中 眞紀	福岡県医師会理事
宮部 治恵	NPO法人がんサポーターサポート代表理事
宮崎 親	福岡県保健所長会会長（北筑後保健福祉環境事務所長）
吉田 隆造	保健医療介護部がん感染症疾病対策課課長補佐
曾根 徹	福岡県小学校体育研究会会長（福岡市立弥永小学校長）
藤田 公慈	福岡県中学校保健体育研究会会長（福岡市立板付中学校長）
吉丸 昌明	福岡県高等学校保健体育研究部会会長（福岡県立直方高等学校長）
永野 恵美	福岡県教育庁南筑後教育事務所指導主事
安永 真寿美	福岡県教育庁筑豊教育事務所指導主事
松本 秀樹	福岡県教育庁教育振興部義務教育課指導主事
鈴木 寛	福岡県教育庁教育振興部高校教育課指導主事

### 【事務局】

寺崎 雅巳	福岡県教育庁教育振興部副理事兼体育スポーツ健康課課長
山本 秀史	福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課課長補佐
笠井 康行	福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課総括指導主事
牧草 勲	福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課指導主事
青影 瑞恵	福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課指導主事

## 令和元年度福岡県がん教育推進委員会

### 【委員】

松浦 賢長	福岡県立大学教授
田村 和夫	福岡大学医学部総合医学研究センター教授
田中 眞紀	福岡県医師会理事
中村 伸一	NPO法人がんサポーターサポート代表理事
中原 由美	福岡県保健所長会代表（宗像・遠賀保健福祉環境事務所保健監）
元永 行英	保健医療介護部がん感染症疾病対策課課長補佐
富澤 一史	福岡県小学校体育研究会会長（福岡市立壱岐南小学校長）
古川 久記	福岡県中学校保健体育研究会会長（福岡市立箱崎清松中学校長）
石本 月洋	福岡県高等学校保健体育研究部会会長（福岡県立三井高等学校長）
有川 佐智子	福岡県教育庁福岡教育事務所指導主事
内田 慈子	福岡県教育庁京築教育事務所指導主事
磯田 哲郎	福岡県教育庁教育振興部義務教育課指導主事
松尾 勝之	福岡県教育庁教育振興部高校教育課指導主事

### 【事務局】

稲富 勉	福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課課長
山本 秀史	福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課参事兼課長補佐
笠井 康行	福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課総括指導主事
三嶋 公王	福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課指導主事
青影 瑞恵	福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課指導主事

## 平成30年度福岡県がん教育指導資料作成委員会

## 【委員】

助友 裕子 (スーパーバイザー)	日本女子体育大学教授
岡村 聡広	福岡県小学校体育研究会（福岡市立草ヶ江小学校教諭）
上杉 圭央	福岡県中学校保健体育研究会（福岡市立板付中学校教諭）
山田 千絵	福岡県高等学校保健体育研究部会（福岡県立直方高等学校教諭）
木村 成美	福岡県小中学校養護教員研究会（八女市立上陽北浜学園養護教諭）
吉田 紀美	福岡県小中学校養護教員研究会（福岡市立博多中学校養護教諭）
原尻 智子	福岡県高等学校養護教諭研究会（福岡県立宗像高等学校養護教諭）
松本 秀樹	福岡県教育庁教育振興部義務教育課指導主事
鈴木 寛	福岡県教育庁教育振興部高校教育課指導主事

## 令和元年度福岡県がん教育指導資料作成委員会

## 【委員】

助友 裕子 (スーパーバイザー)	日本女子体育大学教授
友池 弘治	福岡県小学校道徳教育研究会（糸島市立東風小学校教諭）
堤 佳代	福岡県中学校道徳教育研究会（太宰府市立学業院中学校主幹教諭）
山下 優子	福岡県高等学校家庭科研究会（福岡県立福岡農業高等学校教諭）
早田 善雄	福岡県高等学校保健会（福岡県立東鷹高等学校教諭）
森北 さわこ	福岡県篠栗町教育委員会指導主事
松岡 憲一	福岡県教育庁筑豊教育事務所指導主事
磯田 哲郎	福岡県教育庁教育振興部義務教育課指導主事
中山 博紀	福岡県教育庁教育振興部義務教育課指導主事
大串 知子	福岡県教育庁教育振興部高校教育課指導主事

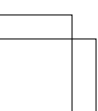


## 引用資料・参考資料

- ・学校におけるがん教育を推進するためのQ&A集 平成30年2月 福岡県教育委員会
- ・がん教育推進のための教材（一部改訂） 平成29年6月 文部科学省
- ・がん教育推進のための教材指導参考資料 平成29年5月 文部科学省
- ・福岡県がん教育推進事業実践事例集 平成29年2月 福岡県教育委員会
- ・外部講師を用いたがん教育ガイドライン 平成28年4月 文部科学省
- ・がん教育推進のための教材 平成28年4月 文部科学省
- ・学校におけるがん教育の在り方について（報告） 平成27年3月

「がん教育」の在り方に関する検討会

- ・文部科学省ホームページ
- ・厚生労働省ホームページ
- ・農林水産省ホームページ
- ・国立研究開発法人国立がん研究センターホームページ



福岡県がん教育指導資料集  
令和2年2月 発行

【編集・発行】  
福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課  
福岡市博多区東公園7番7号